

あさひはのぼる

～旭高校 校長室通信～

第4号

平成28年1月16日

校長 古谷康司

旭高校は、ひとつ上を目指してのぼり続けています

新しい年を迎えて

育てたい生徒像

つねにひとつ上を目指す生徒

旭高校は、昨年、成長できたことをさらに伸ばしていきます。
新年にあたり、旭高校の「育てたい生徒像」について、改めて説明いたします。
実現に向けて、教育活動をさらに工夫してまいります。

育てたい生徒像

旭高校の使命

社会貢献できる人づくり

つねにひとつ上を目指す生徒

社会の変化が激しく、未来が見えない時代だからこそ、旭高校は「つねにひとつ上を目指す」を掲げ、生徒が自分で進んでいける力を身につけさせています。今自分ができることより、少し上のことを目標と定め、達成して次に向かう。スモールステップアップを繰り返し、自分になりたい大人に向かっていく。つねに「**向上心**」をもって自分を磨き、未来を切り開く力を身につけてもらいたい。旭高校は、授業・部活動・学校行事などを通して、自己開拓を実践する力を育てています。

仲間と繋がることのできる生徒

社会人として、人間関係を形成する力は欠かせません。一人ではできないことも仲間と協力し、未来を変えることが可能です。旭高校が掲げる「仲間と繋がることのできる生徒」とは、「**切磋琢磨**」という言葉で表すように、仲間と互いに磨きあいながら、ともに成長していくことをイメージしています。つねに互いを評価し、批判できる深い付き合いを通して、一生の友を得る。ここで身につけたコミュニケーション能力は、社会に出ても通用し、たよられる人間に成長します。

二つの「育てたい生徒像」は、ともに働きあうことで、大きな成果を生みます。自分の力は、より多くの人とかかわることができたかで変わります。人間関係という裾野を広げることで、より高く積み上げることができます。正解が見えない時代だからこそ求められる、皆が納得する方向を見つけていく納得解が必要です。これを求めるには、多くの力を発見し、自分の力にすることが必要です。旭高校は、これらの力を「**人間力**」にとらえ、総合的な力を育成します。